



日に焼けやすい紙を使った、軽く、手になじむデザイン。表紙が汚れるにしたがって、ニスで引いた線が現れます。

遠藤水城 Mizuki Endo

キュレーター

1975 年 札幌生まれ。2004 年 九州大学博士後期課程満期退学。

art space tetra(2004/ 福岡)、Future Prospects Art Space(2005/ マニラ)、遊戯室(2007/ 水戸)などのアートスペースの設立に携わる。2004-2005 年、日本財団 API フェローとしてフィリピンおよびインドネシアに滞在。2005 年若手キュレーターに贈られる国際賞「Lorenzo Bonaldi Art Prize」受賞。「Singapore Biennale 2006」ネットワーク・キュレーター。2007 年、Asian Cultural Council フェローで米国に滞在。同年、ARCUS Project ディレクターに就任。2009 年、「福岡アジア美術トリエンナーレ」協力キュレーター。「ヨコハマ国際映像祭 2009」キュレーター。共訳書にジェイムズ・クリフォード『ルーツ - 20 世紀後期の旅と翻訳』(月曜社)がある。

インタビュー

千葉成夫 (美術評論家)

熊谷伊佐子 (美術評論家・東アジア美術研究)

平野千枝子 (美学・美術史家)

長谷川祐子 (東京都現代美術館チーフキュレーター)

村上隆 (現代美術家)

田中功起 (アーティスト)

ton2-002 Mizuki "Endo AMERICA MADE"
books 190page
no-ISBN

とんつーしょーと

<http://www.U315U.net/>

キュレーター 遠藤水城によるインタビュー集。

2007年1月に録られた5つのインタビューと、6月に返信された1本のメールインタビューを収録。

会話の中で見えてくる、身にしみ込んできたアメリカの影響。日本のアートは何を足場として、そこからどこへ行くべきなのか。

.....

僕には「作品」や「批評」ではない「なにか」がアメリカから日本へ導入されてきたように思えるのです。もっと言うと、仮にネオ・ジオやアプロプリエーション・アートなどが日本で大きく紹介されたにせよ、問題はそこにはなく、むしろ「現代美術」という奇妙な空気そのものが導入されたのではないかと僕は考えており、その「奇妙な空気」に実体を与える何らかの制度化がいつの間にか為されてしまったのではないかと印象を受けるのです。

「アメリカのアート」の特質とはなんなのでしょう？そこから何を学ぶべきなのでしょう？これまでの日本のアーティスト／キュレーター／批評家の方々は何を学び、何を賞賛し、何を見なかったことにし、何を日本に導入したのでしょうか？(前書きより)

.....

それぞれの立場から語られる、美術と日本と世界と、そして個人。

歳月を経たからこそ浮かびあがる、それぞれの軸。

美術に関わる人だけではなく、思索しつづける全ての人へおくる書籍です。

美術って本質的には言葉にならない。言葉にならないものを言葉にするためには、見続けることで感覚を蓄積していくことが非常に重要なんです。/ 美術家の一人ひとりが「美術」というものを“一”から始めざるを得ないような今の状況に、ある一つの光を当てることはできるかもしれない。僕は批評というものをそんな風に思っているのです。

千葉成夫

若い人が置かれている状況に対して、私が何かをするってことはできないと思います。それは作家自身の問題だから。私ができることは文章に残すってことだと思っています。それを読んだ人が何かを活かしてくれればいいですね。

熊谷伊佐子

でもあまりにも、アーティストになるということとか、それを続けるってということが、不自然なことになっている気がしたんです。そういう風にするに何の意味があるのか、考えないのならやらなければいいのに、って / 私は、研究対象に批判的に取り組んできたけれど、それじゃあ美術の大事なところは どう捉えて伝えたいのか。 / 私が置かれたいまの新しい立場から、新しく考え始めたところなんです。

平野千枝子

今までに見た事もない展覧会をつくりたいと、いつも思っています。 / アートというものがあらかじめ絶対的な価値を持っているとか、美術館は絶対になくならないというのは幻想です。 / アーティストは力強く美しい一方の孤独で脆い生き物なので、それと寄り添って走るには同じようにならなくてははいけないんです。

長谷川祐子

出来る限りの正直と誠実さを持って生きて行けば自分を裏切る事は無いと思います。

村上隆

評価されてもされなくても、人生は続いていく。 / いつしか同じ土俵にやってくる今の中学生に負けたくないね。アイデアには限界あるけど、アートには限界ないから、圧倒的で果てしないことができるようにいつかなれるといいけど。

田中功起

ご意見、ご質問、ご感想、ご批判、すべて歓迎します。みんなで、ちゃんと話せばアートも世界ももっとよくなると思いませんか？

遠藤水城